

一般質問・質疑 通告一覧

1 遠藤 公彦 議員 6月19日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 教育行政について

(1) 生成 AI (人工知能) 利用について

- ①生成 AI (人工知能) の利用に関する市長の認識を伺います。
- ②本市の小学校・中学校の授業や家庭学習において、生成 AI (人工知能) 利用の方向性について、市の見解を伺います。

(2) 不登校な児童生徒の出席扱いについて

- ①不登校な児童生徒に ICT (コンピュータやインターネット、遠隔教育システムなど) や郵送、FAX などを活用して提供される学習活動やフリースクール (民間の教育機関) に通う児童生徒に対して、その児童生徒が在籍する学校の出席扱いを本市に取り入れることについて、市の見解を伺います。

(3) 中学校の部活動について

- ①本市の中学校の部活動において、在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが専門的に指導できる顧問がいない場合に、参加を希望する生徒を1つの学校が受け入れる「部活動拠点方式」を取り入れることについて、市の見解を伺います。

2. 森林環境譲与税について

(1) 森林環境譲与税はどのようなことに使用できるのか伺います。

(2) 本市の令和6年度の森林環境譲与税交付額及び活用内容について伺います。

(3) 森林環境譲与税の有効活用するための今後の取組について伺います。

一般質問・質疑 通告一覧

2 緑川 摂生 議員 6月19日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 観光行政について

(1) 関山登山口に設置された「おもてなしトイレ」の設置目的と利用状況について

- ①設置場所と管理は誰がしているのか伺う。
- ②利用人数について伺う。
- ③このトイレを設置したことで目的は達成されているのか。

(2) 山開き時の市としての協力体制について

- ①仮設トイレの数や設置場所、バスでの送迎内容はどのようになっているのか。
- (3) 今後のトイレや駐車場整備を、どのように考えているのか伺う。

2. 教育行政について

(1) 登下校における子供の安全確保について

- ①5月17日の児童の交通事故について伺う。
- ②通学路合同点検について伺う。
- ③危険箇所や通学路対策箇所の把握状況について伺う。
- ④見守り隊との協力体制と連携について伺う。

一般質問・質疑 通告一覧

3 室井 伸一 議員 6月19日(水) 質問予定

質問事項・要旨
1. こどもまんなか応援サポーターについて (1) 少子化が進行するなかで、こどもまんなか応援サポーター宣言をした市長の思いについて伺う。
2. 公共交通について (1) 路線バス及び市循環バスこみねっとの利用者数について伺う。 (2) 民間路線バス及び市循環バスの職員の利用者を増加させることについて伺う。
3. 良縁めぐりあわせ応援窓口について (1) スタッフの体制と実際に行ってみて見えてきた課題等について伺う。 (2) これまでの実績について伺う。
4. 自治体におけるカスタマーハラスメントについて (1) カスハラと思われる事例について伺う。 (2) カスハラに対するマニュアル等について伺う。 (3) カスハラを受けた際の職員に対するケアやサポート体制について伺う。 (4) 今後のカスハラ対策について伺う。
5. 帯状疱疹ワクチン接種について (1) 接種費用の一部を助成することについて伺う。

一般質問・質疑 通告一覧

4 植村 美洋 議員 6月19日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 廃校の利活用</p> <p>(1) 旧五箇中学校の利活用について</p> <p>①旧五箇中学校を美術館、博物館、戊辰戦争資料館などの文化施設として活用することが有効と考えられるが、市の考えを伺いたい。</p>
<p>2. 教育</p> <p>(1) 水泳指導について</p> <p>①小中学生の水泳の授業および部活動の指導は、室内プールを建設して、一括して水泳指導を行うことが有効と考えるが、市の考えを伺いたい。</p>
<p>3. 観光地における施設整備</p> <p>(1) 南湖公園内の交通のあり方について</p> <p>①南湖公園の観光客が増加し、園内に入る車が混雑しているので、駐車場の整備と通行の規制等が必要と思われるが、市の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 小峰城の駐車場について</p> <p>①小峰城の観光客も年々増加し、今後も増加すると予想される。そのため、駐車場にはトイレが必要と考えるが、市の考えを伺いたい。</p>

一般質問・質疑 通告一覧

5 永山 均 議員 6月19日(水) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 白河地域としての振興施策について</p> <p>(1) 大学の誘致と医療体制の充実について</p> <p>①白河市と西白河郡が白河地域として一体となり、大学の誘致と医療体制の充実を推進していく必要が有ると思うが、市の考えを伺う。</p> <p>(2) F I T 構想について</p> <p>①昭和63年に策定された、福島・茨城・栃木の3県を広域交流圏として発展を目指すために策定されたF I T 構想は、改定を経て令和7年度が最終年度となっているが、事業の効果について伺う。</p> <p>(3) 那須町との連携強化について</p> <p>①観光面の白河地域の認知度向上を図るため、白河・那須地域としてさらに連携を深めていく必要が有ると思うが市の考えを伺う。</p> <p>2. 廃校の活用について</p> <p>(1) 廃校となった学校施設の活用計画について</p> <p>①現在の活用計画について伺う。</p> <p>(2) 住民による廃校の一時利用について</p> <p>①行事等で、施設の一時利用を申し込む際の方法について伺う。</p> <p>(3) 体育館の利用について</p> <p>①行事等を行う際のトイレ利用、及び多様な目的で体育館を利用出来ないか伺う。</p> <p>(4) 学校備品の処分について</p> <p>①不要となった学校備品の処分について、インターネットオークション等を利用した処分方法を検討出来ないか伺う。</p>

一般質問・質疑 通告一覧

6 鈴木 裕哉 議員 6月20日(木) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 消防行政について</p> <p>(1) 頻発化する災害に対応した消防団のあり方について</p> <p>(2) 消防団活動の充実強化について</p> <p>①消防水利の確認・把握状況について伺う。</p> <p>②消防団向けアプリの導入について伺う。</p> <p>③準中型免許取得のための支援について伺う。</p> <p>④一般団員まで対象としたアンケートの実施について伺う。</p>

一般質問・質疑 通告一覧

7 大竹 功一 議員 6月20日(木) 質問予定

質問事項・要旨
<p>1. 高齢者福祉行政について</p> <p>(1) 身寄りのない高齢者の入院、施設入所時の諸課題について</p> <p>①特別養護老人施設等への入居状況及び待機の状況について伺う。</p> <p>②身寄りのない高齢者の支援策について伺う。</p> <p>2. トラバサミの使用について</p> <p>(1) 鳥獣保護管理法において、トラバサミの使用について、どのように規定されているのか。</p> <p>(2) 違反について、どのように規定されているのか。</p> <p>3. 白河市の動物愛護問題について</p> <p>(1) 動物愛護法に関する啓発について</p>

令和6年6月定例会

一般質問・質疑 通告一覧

8 佐川 琴次 議員 6月20日(木) 質問予定

質問事項・要旨
<p>1. インバウンドによる誘客について</p> <p>(1) 施政方針にある台湾からのインバウンド誘客について伺う。またインバウンドによる誘客については広域観光としての取組が必要と思われるが考えを伺う。</p> <p>2. 高校生の台湾台南市との交流事業について</p> <p>(1) 今年度から、台湾との交流事業として、市内在住の高校生 10 名を派遣することとしているが、どのような研修内容になるのか。また、円安の影響により参加者の負担が大きいのと思うが、参加費等はどのくらいになるのか伺いたい。</p> <p>また、この交流事業を継続事業として行っていくのかお聞きしたい。</p>

一般質問・質疑 通告一覧

9 大花 務 議員 6月20日(木) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 今後の白河第一小学校の改築工事等の予定について伺う。</p> <p>(1) 白河第一小学校建設事業は、令和3年度に基本構想、令和4年度に敷地測量、令和6年度に基本設計・地質調査を実施して、実施設計・工事着手すると聞いているが、進捗状況と今後の予定について伺いたい。</p> <p>(2) 白一小改築にあたって、これまでどのような検討を行ってきたのか。</p> <p>①小中学校の児童生徒数と学級数の動向について。そして、今年度の白一小児童数は1年生が39名2クラスで、6年生が30名1クラスである。将来もっと白一小の児童数が減ると思うので、白一小の児童を白二小と白三小へ統合出来るか出来ないかについて併せて伺う。</p> <p>②通学区域の見直しについて、飯沢金勝寺町内会や会津町町内会は、白二小が白一小より約1キロ近い、本町町内会や南町町内会は白三小が白一小より約1キロ近い等の問題があるので検討すべきであると思うが白河市教育委員会の考え方について伺う。</p> <p>③白一小の学級数は適正規模なのかについて伺う。</p> <p>(3) 大信地区の3つの小学校が統合したように、白一小と白三小を統合して中央小学校にしてはどうか。</p> <p>(4) 白一小の改築計画を見直すべきであると思うが見直す考えはないのか。地域住民に対する説明責任を果たしているのか。</p> <p>(5) 白二小の改築時は、白二小建設検討委員会を設立したが、白一小の改築では設立しないのか。</p> <p>(6) この少子化の時代に今と同じ規模の改築は市民の理解を得られていると考えているのか。10年前の釜子小学校改築を現在の場所ですて、小野田小学校との統合を難しくしてしまったと同じ轍を踏まないか。</p> <p>2. 小学校区・中学校区の学区検討委員会の進捗状況と今後の予定について伺う。</p>

一般質問・質疑 通告一覧

10 柴原 隆夫 議員 6月20日(木) 質問予定

質問事項・要旨

1. 避難等における新たな課題について

予測されてなかった能登半島地震が正月の真冬に発生しましたが、日本列島のどこでいつ起きてもおかしくありません。

1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災でもありましたが、特に問題とされなかったことが、能登半島地震では新たな課題となったことがたくさんでできました。その一つが、「女性の視点」が必要なことです。

(1) 「真冬の避難」と「真夏の避難」について

能登半島地震は真冬に発生し、避難生活に多くの問題が起こりました。

地震対策は予知中心から、発生を前提にできるだけ被害を少なくする方向へと変わり、想定外で被害を減らし備えることの重要性が増してきました。

「真冬の避難」と同時に「真夏の避難」に備えた対策が必要かと思われませんが、市の見解を伺います。

(2) 内閣府のチェックシートについて

能登半島地震の避難所で、女性や妊産婦、乳幼児の安心と安全への配慮や避難所に相談できる女性がないことが指摘されました。内閣府のチェックシートでは管理責任者には男女両方の配置が必要とされておりますが、市の見解を伺います。

(3) 乳幼児や妊産婦の「要配慮者」への支援と啓発について

①災害時に、乳幼児や妊産婦は特に支援が必要な「要配慮者」に位置づけられております。子連れや妊産婦の避難者にどう備えるかが必要と考えますがいかがでしょうか。

②支援が届きづらい乳幼児や妊産婦がいる家庭は特に平時の備えが重要です。

災害に遭遇した場合の通常の備え情報は浸透しておりますが、「要配慮者」が避難時に知りたいことの情報は乏しいことから、この情報の啓発が必要かと思われませんが、市の見解を伺います。

(4) 家屋の耐震化について

今回の能登半島地震による死亡者の状況では「家屋倒壊」による下敷きによるものが9割(2000人以上)を占めており、その被害をいかに抑えるかが課題となりました。

①本市の住宅総数のうち、1980年以前の旧耐震基準で建てられ、耐震性が不足している住宅の割合はどのくらいあるのか伺います。

②国は2030年までに耐震不足住宅をなくすとしておりますが、どのような手順で耐震化が進められることになるのでしょうか。また、耐震相談や耐震診断はいつ、どこでできるのか伺います。

③自然災害で家屋、空き家が倒壊した場合の撤去方法はどのようになるのか伺います。

2. 生活保護受給者への物価高騰支援について

- (1) 生活保護制度の扶助費に物価高騰による対処はあるのか伺います。
- (2) 国は熱中症を防ぐため冷房の適切な使用を呼びかけております。高騰する電気料金に対し「夏季加算」のような支給はあるのか伺います。
- (3) 物価高騰の負担にもっとも影響を受けるのは低所得者層です。生活保護世帯は物価高騰重点支援給付金の対象者とならないのでしょうか。

3. 「私立小中一貫校創設」の事業採択について

本年1月に教育福祉常任委員会ではきのくに子どもの村学園を視察して参りました。全国からの視察がありテレビ等でたびたび報道され、映画にもなり全国で上映されております。この学校をモデルにした小中一貫校が、本市の信夫第二小学校の校舎利活用に応募されたことが夢のようです。

- (1) 「きのくに子どもの村学園」は全国から集まり寄宿制となっております。旧信夫第二小学校には市営住宅が隣接しております。一般住宅が子どもの寄宿に適するかどうかわかりませんが、もし私立学校側で利用の要望があった場合は、改築改装等を含め協力してあげてほしいと考えますが、市の見解を伺います。

4. 「教員志願の低迷」と「教員の長時間労働」について（その2）

「教員の長時間労働」については、3月議会で諸書類作成の「事務仕事」等による業務内容が詳細に説明されました。

- (1) 令和5年度の県教委による調査で国が示す「月45時間」の上限を超える時間外勤務をしている教員は、小学校で40.8%、中学校で58.0%、更に国が示す「過労死ライン」（月80時間）に達する教員は、小学校で7.4%、中学校で25.0% となっております。中学校教員の4人に1人が過労死ラインの時間外勤務をしていることになっております。

また、文部科学省が2022年度に実施した公立学校教員の勤務実態調によりますと、平日の平均労働時間は、小学校10時間45分、中学校11時間1分となっており、1日のほぼ半分が勤務していることとなります。これには、持ち帰り仕事時間、土日の労働時間は含まれておりません。

教育長はこの「教員の長時間労働」の実態をどのような思いで教育業務についておられるでしょうか、お伺いします。

- (2) 教員志願減少の最もおおきな要因は長時間労働です。2023年度の教員の志願倍率は前年度の1.6倍から1.4倍へと下がり、歯止めがかかっておりません。2013年度実施の採用では、志願数は2840人でしたが、2023年度は1779人で、この10年で4割の1061人も減少しております。

3月議会で答弁があったような業務により、十分な授業したくても忙しすぎて準備時間が取れない。教え子と向き合う余裕もないという実態もあります。

教育長は教員に優秀な人材が集まりにくくなっている、この実態をどのように捉え教育業務についておられるでしょうか、お伺いします。

(3) 叙述しておりますように、優秀な若者が「教員は大変だ」の大きな要因は長時間労働です。3月議会の答弁で多忙事由は理解できました。しかし、志願倍率が1.4倍ということは実質「1」を切り、合格者が応募定員を満たしていないと推測され、満たしてもギリギリです。志願者は福島県の教員採用だけに応募しているわけではありません。また、別の職種にも応募しております。

教員を希望する大学生の減少は、優秀な人材不足となり、教育の質の低下につながります。教育の質を高めるには、優秀な大学生はどうしても必要です。先生を、教育の質を守る必要があります。

3月議会で、「きのくに子どもの村学園」の視察報告書に基づき、学校の指導体制については学校長に権限を与え、働き方改革を行ってはどうですかと提案させていただきました。教育長は、できないではなく、何ができるかを考える必要があると考えますが、いかがでしょうか。

令和6年6月定例会

一般質問・質疑 通告一覧

11 大木 絵理 議員 6月21日(金) 質問予定

質問事項・要旨

1. 本市における保育・幼児教育について

- (1) 本市における保育・幼児教育は、少子化が進む中、どのような施設整備計画をもって取り組まれていくのか伺う。
- (2) 表郷こども園の開園に向けた市の考えとその進捗状況について伺う。
- (3) 全国的に不適切保育が明らかになるケースが多数みられる中、未然に防止するための取り組みが必要だと思うが、市の考えを伺う。

2. 地域防災について

- (1) 消防団員が行う消火栓の点検方法と点検時期やスパンはどのようになっているのかを伺う。
- (2) 地域防災アプリケーション「S.A.F.E」の導入について、市はどのような考えなのかを伺う。

3. 教育行政について

- (1) 「学校が保護者等に求める押印の見直し」について、文部科学省は令和2年10月20日に各都道府県の教育委員会教育長宛で通知されているが、本市において押印の見直しはされているのか伺う。
- (2) 今後、学校と保護者間にアプリ導入が行われDX化が進むにつれて、押印の見直しを進めていくべきだと思うが、教育長の考えを伺う。

一般質問・質疑 通告一覧

12 深谷 弘 議員 6月21日(金) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
<p>1. 教職員の多忙化について</p> <p>(1) 教職員の勤務状況</p> <p>※令和4(2022)年度及び令和5(2023)年度の実態</p> <p>①小学校・中学校の月平均時間外勤務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の月平均時間外勤務時間及び教職員数 ・ 中学校の月平均時間外勤務時間及び教職員数 <p>②小学校・中学校の過労死ライン(月80時間)を超える月別人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～3月の教職員数、全体に占める割合 <p>③小学校・中学校の時間外勤務年間の最長時間(月、年間)</p> <p>④教職員の時間外勤務状況の推移をどのように見ているか。</p> <p>(2) 多忙化解消の取り組み</p> <p>①中教審「質の高い教師の確保特別部会」の審議のまとめについての受け止め</p> <p>②タブレット導入の影響</p> <p>2. 国保行政について</p> <p>(1) 令和6(2024)年度の国保税率・額は据え置きだが、調定額はどうか。</p> <p>①医療分</p> <p>均等割(被保険者数、税額、課税額)、平等割(世帯数、税額、課税額)、所得割(課税算定基礎額、税率、課税額)</p> <p>②介護分</p> <p>均等割(被保険者数、税額、課税額)、平等割(世帯数、税額、課税額)、所得割(課税算定基礎額、税率、課税額)</p> <p>③後期高齢支援金等分</p> <p>均等割(被保険者数、税額、課税額)、平等割(世帯数、税額、課税額)、所得割(課税算定基礎額、税率、課税額)</p> <p>(2) 議案48号国保条例の一部改正について</p> <p>①後期高齢者支援金等課税限度額の引き上げの影響</p> <p>②低所得者に係る軽減措置の対象となる世帯の軽減判定額の引き上げの影響</p> <p>(3) 令和5(2023)年度国保特別会計の決算見込について</p> <p>①国保税の徴収実績(2024/5月末日現在) ※収納率</p> <p>②歳入(国保税、使用料・手数料、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金、諸収入、合計)</p> <p>③歳出(総務費、保険給付費、国保事業費納付金、保険事業費、諸支出金、合計)</p> <p>④形式収支(次年度繰越金)</p> <p>(4) マイナ保険証導入にともなう紙の保険証廃止(2024/12/2)について</p> <p>市の国保保険証の切り替え業務はどうか。</p>

3. 学校給食費の負担軽減について

(1) 当初予算に計上された給食費負担軽減事業

①給食食材費の物価高騰分を市が2/3負担する事業だが、1/3は保護者負担となる。給食費はどれくらい値上げになるのか。

- ・1食分(小学校、中学校)
- ・年間(各小・中学校)

(2) 学校給食費無償化の展望

4. こども誰でも通園制度について

(1) 「誰でも通園制度」のねらいと問題点

①どのような制度なのか。

②保育関係者からの危惧やとまどいの声にどう対応するのか。

(2) 白河市での具体的な取り組み